



2015

復活第64回（通算84回）

H. I. 盃選手権試合

全三菱庭球大会

平成27年10月23日・24日・25日

三菱東京UFJ銀行	武蔵野コート
東京海上日動	多摩コート
日本郵船	飛田給コート

三菱庭球同好会

2015年大会の運営について

三菱庭球同好会は、これまで本大会の諸改革に努め、昨年は女子シングルスを創設しました。これにより男女とも同じ種目数となったことを受け、本年は大会運営の更なる充実を図るべく、課題であった“遠隔地区の参加者増”と“HI 盃精神・伝統の継承”に取り組み、以下の改善を行いました。

皆様には、引き続き本大会へのご理解とご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

1. 140歳・120歳ダブルスの試合数増

初日の予選にリーグ形式を導入し、参加者は少なくとも2～3試合をできるように致しました。これにより遠隔地区の方を含めてより多くの参加を促すとともに、参加選手の大会当日の充足感向上を図りました。

2. 遠隔地区の若手選手への遠征費補助

中京、関西、九州地区からの若手参加者減少（男女単複、東西対抗）の大きな要因となっている遠征費問題について、個人負担を少しでも軽減するため補助を充実させました。遠征交通費の約半額程度を目安に補助します（但し参加数により変更の場合あり）。この効果もあって、東西対抗は男子20組、女子3組に参加が増えました（去年は男子16組、女子3組）。

3. 大会運営費の確保

上記補助の原資確保のため、本年の大会から以下2点を変更することに致しましたので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

(1) 大会2日目（土）、3日目（日）昼食の支給取止め

雨天時の弁当のキャンセル対応、近隣コンビニでの購入の容易さ等の面を考慮し、本年からは各自で手配頂きますようお願い申し上げます。尚、男女シングルス選手等を紹介する最終日の大会幹部の昼食会については継続させていただきます。

(2) エントリー費の改定

関東地区の方は、以下の通り負担増となりますが、ご了承願います。

*金額は、選手一人当たり

種目	地区選手	前回	今回
140歳・120歳 ダブルス	関東	3,000円	5,000円
	関東以外	3,000円	3,000円
男女単複 東西対抗	関東	3,000円	4,000円
	関東以外	1,000円	1,000円

来年2016年には、本大会起源の1916年の関東関西戦開始から100周年を迎えます。今後も大会の充実を図るべく尽力して参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

以上

目 次

H. I. 盃選手権試合と全三菱庭球大会について	2
H. I. 盃選手権試合・全三菱庭球大会戦績表	3
2014年度 第63回 優勝者	7
H. I. 盃選手権試合・全三菱庭球大会開催要項	8
大会次第	10
諸注意事項	11
H. I. 盃選手権試合組合せ	12
男子ダブルストーナメント組合せ	13
女子ダブルストーナメント組合せ	14
140才ダブルストーナメント組合せ	15
120才ダブルストーナメント組合せ	16
東西対抗試合組合せ	17
時間およびコート時間割	18
大会会場・懇親会会場案内図	20
H. I. 盃 NAVI	22

開会式へ参加のお願い

第3日(10/25)銀行コートに試合
予定の選手は、8:30から銀行
コートで開会式を行いますので
原則、必ずご参集願います。

大会プログラム

大会当日は配布しませんので、
ご持参ください。

H. I. 盃選手権試合と全三菱庭球大会について

H. I. 盃選手権試合の歴史は、大正11年にまで遡ります。この年の10月、ロンドンにご外遊中の岩崎彦彌太様より三菱倶楽部庭球部に銀製カップが寄贈され、イニシャルを戴き、「H. I. ロンドンカップ」と名付けられました。翌大正12年、このH. I. 盃を争って第1回全三菱男子シングルス試合（H. I. 盃選手権試合）が開催されました。その後、毎年定例の行事として挙行され、今年で84回を数えるに至っています。

これに先立ち、関東関西戦が大正5年から毎年開催されており、本大会は今年で99年目を迎えます。昭和27年の復活第1回H. I. 盃選手権試合／東西対抗戦（戦争の為昭和18年から中断）に際しては、新たに「100オトーナメント（45才以上ダブルス）」（以降105才、110才及び115才を経て現在では「120オトーナメント」）が加えられました。昭和47年に岩崎操子様よりカップが寄贈され、「女子ダブルス選手権試合」が設けられました。昭和58年に岩崎寛彌様よりカップが寄贈され65才以上のペアによる「130オトーナメント」（平成25年から「140オトーナメント」に変更）が設けられ、平成18年に三菱庭球同好会名で「男子ダブルス選手権試合」が設けられました。そして平成26年に岩崎美智子様より優勝盃が寄贈され、「女子シングルス」が設けられ、男女とも同じ種目の整備が完了しました。

これらのH. I. 盃選手権試合を中心とした各種目庭球試合の総称が、「全三菱庭球大会」であり、現在では、三菱企業グループ30社が参加し、各地区の予選も含め、全国的なレベルでますます盛んに繰り広げられています。



第1回 H. I. 盃（大正12年 東京・染井コート）

H. I . 盃選手権試合・全三菱庭球大会戦績表

I. 復活前

回数	年 度	開催地	委員長	H. I. 盃	関東関西戦	
					回数	勝者
	1916 大正5	神 戸			1	雨天の為中止
	1917 大正6	東 京			2	記録なし
	1918 大正7	神 戸			3	米騒動の為中止
	1919 大正8	名古屋			4	記録なし
	1920 大正9	名古屋			5	記録なし
	1921 大正10	東 京			6	関東
	1922 大正11	名古屋		10月カップ創設 軟式から硬式へ	7	記録なし
1	1923 大正12	東 京	河手捨二 (商事取締役)	岩永侃爾 (門司・鉱業)	8	関西 7-5
2	1924 大正13	神 戸	山口泉吉 (重工神戸造船所長)	青木岩雄 (東京・銀行)	9	関東 9-6
3	1925 大正14	名古屋	松本辰三郎 (内燃名古屋製作所長)	扇山正男 (名古屋・内燃)	10	関東 9-4
4	1926 大正15	東 京	荘田達弥 (造船研究所長)	岩永侃爾 (東京・鉱業)	11	関東 12-3
5	1927 昭和2	神 戸	徳大寺則麿 (重工神戸造船所長)	青木岩雄 (東京・銀行)	12	関東 10-5
6	1928 昭和3	東 京	三好重道 (製鉄取締役)	神田道朝 (関西・保険)	13	関東 8-7
7	1929 昭和4	神 戸	山室宗文 (銀行常務取締役)	青木岩雄 (関東・銀行)	14	関西 10-5
8	1930 昭和5	東 京	荘田達弥 (造船研究所長)	牧野 元 (関東・航空)	15	関東 8-6, 1分
9	1931 昭和6	神 戸	徳大寺則麿 (重工神戸造船所長)	牧野 元 (関東・航空)	16	関西 12-2, 1分
10	1932 昭和7	東 京	三好重道 (製鉄取締役)	志村彦七 (中京・航空)	17	関西 8-7
11	1933 昭和8	神 戸	田中金之助 (倉庫取締役)	後藤 長 (中京・航空)	18	関西 12-3
12	1934 昭和9	名古屋	本間亀吉 (電機名古屋製作所長)	後藤 長 (中京・重工)	19	関東 11-4
13	1935 昭和10	東 京	佐藤梅太郎 (合資参与総務課長)	後藤 長 (中京・重工) 決勝は5→3セットマッチへ	20	関東 10-5
14	1936 昭和11	神 戸	玉井喬介 (重工社長)	石井小一郎 (関東・地所)	21	関西 8-6, 1分
15	1937 昭和12			支那事変のため中止	22	
16	1938 昭和13	東 京	間 四郎 (電機常務取締役)	志村彦七 (中京・重工)	23	関西 8-7
17	1939 昭和14	名古屋	後藤直太 (重工取締役)	志村彦七 (中京・重工)	24	雨天中止
18	1940 昭和15	東 京	間 四郎 (電機常務取締役)	中野文照 (関東・鋼材) <ダブルス>熊谷一彌・関沢房豊	25	関西 9-6
19	1941 昭和16			中止	26	中止
20	1942 昭和17	東 京	間 四郎 (電機常務取締役)	林 新緑 (関西・電機) <ダブルス>田村亮・扇山忠男	27	記録なし

II. 復活後

回数	年 度	開催地	委員長	H. I. 盃	140才トーナメント	120才トーナメント	女子ダブルス	東西対抗試合
1	1952 昭和27	東 京	石黒俊夫 (本社精算人)	藤倉五郎 (金商)	100才→	岩崎彦彌太・ 山岸成一		関東 10-3, 3分
2	1953 昭和28	神 戸	藤井深造 (新重工社長)	藤倉五郎 (金商)		住友・池上 (電機)		関東 13-6
3	1954 昭和29	名古屋	高杉普一 (電機社長)	藤倉五郎 (金商)		富田・河尻 (金属・金商)		関東 19-5
4	1955 昭和30	東 京	石黒俊夫 (地所社長)	藤倉五郎 (金商)		西 ・神田 (商事・海上)		関西 18-12
5	1956 昭和31	大 阪	古村誠一 (金属鉱業社長)	藤倉五郎 (金商)		西 ・服部 (商事・新重工)		関西 19-13, 1分
6	1957 昭和32	東 京	高垣勝次郎 (商事社長)	藤倉五郎 (金商)		藤島・森野 (銀行・海上)		関東 21-17
7	1958 昭和33	大 阪	伊藤保次郎 (鉱業社長)	寺岡健吾 (化成)	105才→	石井・高萩 (地所・鉱業)		関西 23-14
8	1959 昭和34	東 京	佐藤 尚 (造船社長)	石黒 修 (電機)		雨天中止		雨天中止
9	1960 昭和35	東 京	桜井俊記 (重工社長)	石黒 修 (電機)		鈴木・山岸 (金属・商事)		関西 21-17
10	1961 昭和36	東 京	柴田周吉 (化成社長)	石黒 修 (電機)		石井・武井 (地所)		関東 24-21
11	1962 昭和37	大 阪	浜川友十郎 (倉庫社長)	石黒 修 (電機)		樋口・古矢 (銀行)		関東 23-22
12	1963 昭和38	東 京	宇佐美 洵 (銀行頭取)	石黒 修 (電機)	110才→	中山・山岸 (金属・商事)		関東 26-19
13	1964 昭和39	東 京	藤岡信吾 (石油社長)	石黒 修 (電機)		大淵・塚田 (地所)		関東 29-18
14	1965 昭和40	東 京	千頭暎臣 (信託社長)	藤井道雄 (電機)		山岸・柴田 (商事・化成)		関東 27-23
15	1966 昭和41	大 阪	藤野忠次郎 (商事社長)	藤井道雄 (電機)		樋口・一法師 (銀行・商事)		関東 36-17
16	1967 昭和42	東 京	河野文彦 (重工社長)	山岸 孝 (明生)		浅田・塚田 (銀行)		関東 41-18
17	1968 昭和43	東 京	野村義門 (重工顧問)	山岸 孝 (明生)		大藤・山岸(二) (セント・商事)		関東 36-22
18	1969 昭和44	東 京	有吉義彌 (郵船社長)	藤井道雄 (電機)		岩倉・山岸(二) (郵船・商事)		関東 39-28
19	1970 昭和45	東 京	牧田与一郎 (重工社長)	山岸 孝 (明生)		堤 ・塚田 (銀行)		関東 33-24, 13分
20	1971 昭和46	東 京	田実 涉 (銀行会長)	大日方昭太 (海上)		岡本・三好 (金属)		関東 42-28
21	1972 昭和47	東 京	藤野忠次郎 (商事社長)	藤井道雄 (電機)		河尻・藤倉 (金商)	島野・青井 (海上・重工)	関東 43-31
22	1973 昭和48	東 京	中田乙一 (地所社長)	山岸 孝 (明生)		雨天中止	原・市井 (海上)	雨天中止
23	1974 昭和49	東 京	古賀繁一 (重工会長)	宮川善文 (大日)		雨天中止	小島・塚本 (電機)	雨天中止
24	1975 昭和50	東 京	古賀繁一 (重工会長)	辻本 豊 (レイヨン)		田中・笈 (重工)	島野・塚本 (海上・電機)	関東 41-35, 1分
25	1976 昭和51	東 京	古賀繁一 (重工会長)	有沢三治 (油化)		雨天中止	島野・塚本 (海上・電機)	雨天中止
26	1977 昭和52	東 京	古賀繁一 (重工相談役)	藤井道雄 (電機)		北岡・高橋 (電機)	針谷・中井 (重工)	関東 54-28
27	1978 昭和53	東 京	古賀繁一 (重工相談役)	藤井道雄 (電機)	115才→	関口・西尾 (重工)	三枝・堀毛 (電機)	関東 44-37, 1分
28	1979 昭和54	東 京	古賀繁一 (重工相談役)	藤井道雄 (電機)		御供・林田 (重工・製鋼)	西浦・三枝 (電機)	関東 49-33
29	1980 昭和55	東 京	古賀繁一 (重工相談役)	小柳健一 (商事)		吉岡・佐久間 (キャタ・重工)	作山・植村 (化成)	関東 41-20, 21分

回数	年度	委員長	H. I. 盃	140才トーナメント	120才トーナメント	女子ダブルス	男子ダブルス	東西対抗戦	
30	1981 昭和56	古賀繁一 (重工相談役)	小柳健一 (商事)		櫛原・古賀 (化成・樹脂)	作山・植村 (化成)		関東 49-33	
31	1982 昭和57	田部文一郎 (商工会長)	武田 彰 (商事)	130才↓	中野・高橋 (電機)	島野・今井 (海上・重工)		関東 40-37, 5分	
32	1983 昭和58	田部文一郎 (商工会長)	辻本 豊 (レイヨン)	安川・吉岡 (キャタ)	北岡・中野 (電機)	島野・今井 (海上・重工)		関東 33-27, 22分	
33	1984 昭和59	田部文一郎 (商工会長)	辻本 豊 (レイヨン)	末延・関口 (重工)	妹尾・青木 (銀行)	島野・今井 (海上・重工)		関東 47-34, 1分	
34	1985 昭和60	田部文一郎 (商工会長)	辻本 豊 (レイヨン)	小西・富取 (銀行)	原田・佐久間 (商事・重工)	島野・今井 (海上・重工)		関東 48-34	
35	1986 昭和61	田部文一郎 (商工会長)	沢 英樹 (化成)	関口・高田 (重工)	御供・青木 (重工・銀行)	島野・今井 (海上・重工)		関西 46-38	
36	1987 昭和62	鈴木永二 (化成会長)	沢 英樹 (化成)	原田・川崎 (商事・石油)	高橋・鈴木 (電機)	島野・今井 (海上・重工)		関東 46-37	
37	1988 昭和63	鈴木永二 (化成会長)	昭和天皇御病気の為中止						
38	1989 平成元	鈴木永二 (化成会長)	岩原慎二 (化成)	川崎・寛 (石油・自工)	貴志・庄野 (化成)	芥川・善積 (化成)		関東 45-39	
39	1990 平成2	鈴木永二 (化成会長)	辻本 豊 (レイヨン)	原田・上田 (商事)	豊福・金子 (化成・郵船)	芥川・善積 (化成)		関東 50-31, 3分	
40	1991 平成3	飯田庸太郎 (重工会長)	藤井 淳 (商事)	古賀・櫛原 (化成)	瀬口・須藤 (化成・重工)	佐野・溝口 (化成・海上)		関東 28-21, 35分	
41	1992 平成4	飯田庸太郎 (重工会長)	藤井 淳 (商事)	坂尾・伊丹 (キリン)	瀬口・福井 (化成)	佐野・溝口 (化成・海上)		関東 49-29, 6分	
42	1993 平成5	飯田庸太郎 (重工会長)	辻本 豊 (レイヨン)	山田・宮本 (アルミ)	青木・荒木 (銀行)	善積・溝口 (化成・海上)		関東 52-32	
43	1994 平成6	飯田庸太郎 (重工会長)	田村太郎 (商事)	川崎・上田 (石油・商事)	山口・高見 (レイヨン)	前田・早川 (化学)		関東 38-28, 18分	
44	1995 平成7	飯田庸太郎 (重工相談役)	杉本長太郎 (化学)	雨天中止	雨天中止	金子・坂田 (明生)		雨天中止	
45	1996 平成8	飯田庸太郎 (重工相談役)	渡辺 啓 (化学)	伊丹・好士 (キリン)	山守・田中 (化学)	金子・坂田 (明生)		関東 47-37	
46	1997 平成9	藤村正哉 (マテリアル会長)	長谷川 寛 (電機)	雨天中止	雨天中止 120才↓	渡辺・工藤 (明生)		雨天中止	
47	1998 平成10	藤村正哉 (マテリアル会長)	古村賢紀 (電機)	川崎・櫛原 (石油・化学)	小杉・大日方 (銀行)	渡辺・杉山 (明生)		関東 52-32	
48	1999 平成11	藤村正哉 (マテリアル会長)	塚原 識 (銀行)	花岡・沼田 (電機)	浦中・梅沢 (化学)	瀧澤・小柳 (化学)		関東 49-34, 1分	
49	2000 平成12	藤村正哉 (マテリアル会長)	塚原 識 (銀行)	平岡・土肥 (重工・電機)	初澤・池田 (電機)	瀧澤・小柳 (化学)		関西 42-41, 1分	
50	2001 平成13	藤村正哉 (マテリアル相談役)	古村賢紀 (電機)	沼田・榊井 (電機)	岡崎・石山 (石油)	瀧澤・小柳 (化学)		関東 47-27	
51	2002 平成14	藤村正哉 (マテリアル相談役)	塚原 識 (銀行)	宮田・須藤 (重工)	瀧口・梅沢 (化学)	瀧澤・小柳 (化学)		関西 41-31	
52	2003 平成15	藤村正哉 (マテリアル相談役)	古村賢紀 (電機)	宮田・竹部 (重工・キリン)	神田・小杉 (銀行)	瀧澤・小柳 (化学)		関西 26-20	
53	2004 平成16	岸 暁 (銀行相談役)	古村賢紀 (電機)	雨天中止	雨天中止	今城・吉井 (海上)		雨天中止	
54	2005 平成17	岸 暁 (銀行相談役)	古村賢紀 (電機)	池田・片寄 (電機)	毎野・西 (商事)	安井・星 (生命)		関東 28-23	
55	2006 平成18	岸 暁 (銀行相談役)	古村賢紀 (商事)	佐伯・津田 (SCM・重工)	出口・近藤 (重工)	市川・原 (海上)	江頭・塩谷 (生命)	関東 16-9	
56	2007 平成19	岸 暁 (銀行相談役)	前田信二 (銀行)	瀧口・高見 (化学・レイヨン)	藤井・吉田 (電機)	深田・清水 (銀行)	武井・若月 (銀行)	関西 19-6	
57	2008 平成20	岸 暁 (銀行相談役)	中原健一郎 (商事)	若菜・茅本 (重工・化学)	鈴木・君塚 (海上)	安井・伊藤 (生命)	黒崎・鳥山 (商事)	関西 14-11	
58	2009 平成21	井手明彦 (マテリアル社長)	藤田瑞飛 (生命)	出口・淀川 (重工)	瀧口・矢野 (化学)	古賀・加藤 (生命)	細江・佐藤 (生命・海上)	関東 13-12	

回数	年 度	委員長	H. I. 盃	140才トーナメント	120才トーナメント	女子ダブルス	男子ダブルス	東西対抗戦
59	2010 平成22	井手明彦 (マテリアル会長)	藤田瑞飛 (生命)	近藤・淀川 (重工)	小野・赤沼 (硝子)	伊藤・五十嵐 (生命)	渡辺・瀬野 (電機)	関西 13-12
60	2011 平成23	井手明彦 (マテリアル会長)	藤田瑞飛 (生命)	高橋・金子 (硝子)	後藤・古屋 (電機)	古賀・松重 (生命)	星村・狩谷 (生命)	関東 16-9
61	2012 平成24	井手明彦 (マテリアル会長)	藤田瑞飛 (生命)	東・淀川 (重工)	伊藤・矢野 (化学)	五十嵐・鍋谷 (生命)	星村・狩谷 (生命)	関西 13-12
62	2013 平成25	井手明彦 (マテリアル会長)	福田健司 (電機)	140才↓ 東・田中 (重工)	赤沼・本間 (硝子)	五十嵐・鍋谷 (生命)	廣田・横山 (電機)	関西 11-8

回数	年度	委員長	H. I. 盃	女子シングルス	140才トーナメント	120才トーナメント	女子ダブルス	男子ダブルス	東西対抗戦
63	2014 平成26	井手明彦 (マテリアル会長)	田川翔太 (海上)	鍋谷昌栄 (生命)	田中・永田 (重工)	近藤・矢野 (化学)	奥間・関 (銀行)	神谷・星野 (麒麟)	関西 11-8

注. 第30回大会以降の開催地はすべて東京

2014年度 第63回 優勝者

< >内はプレゼンター



H. I. 盃 田川翔太選手 (海上)
<大宮会長 (重工)>



女子シングルス 鍋谷昌栄選手 (生命)
<畔柳特別顧問 (銀行)>



140 オトーナメント 田中・永田ペア (重工)
<根岸社長 (生命)>



120 オトーナメント 近藤・矢野ペア (化学)
<小林常務 (キリン)>



男子ダブルス 神谷・星野ペア (キリン)
<山西会長 (電機)>



女子ダブルス 奥間・関ペア (銀行)
<宮永社長 (重工)>



東西対抗戦 西軍
<黒井常務 (自動車)>



大会役員及び各種目優勝者等との記念撮影

H. I. 盃選手権試合・全三菱庭球大会開催要項

幹事会社
三菱電機(株)、三菱製紙(株)、(株)ニコン

1. 大会日程

日 程	種 目 等	会 場	集合時間等
第 1 日 10月23日(金)	140才・120才ダブルス ブロック別リーグ戦	海上 多摩コート 郵船 飛田給コート	試合開始30分前
第 2 日 10月24日(土)	H. I. 盃、女子シングルス1回戦 男子ダブルスブロック別リーグ戦 女子ダブルスブロック別リーグ戦 140才・120才ダブルス決勝トーナメント1～2回戦	銀行 武蔵野コート	試合開始30分前
	男子ダブルスブロック別リーグ戦	海上 多摩コート	
第 3 日 10月25日(日)	開会式	銀行 武蔵野コート	8:30からの開会式に原則必ずご参加ください *試合受付は開始30分前をお願いします
	H. I. 盃、女子シングルス準決勝・決勝 男子ダブルス 決勝トーナメント1回戦・準決勝・決勝 女子ダブルス 決勝トーナメント準決勝・決勝 140才・120才ダブルス準決勝・決勝 東西対抗試合・特別試合		
	東西対抗試合		
	懇親会	吉祥寺第一ホテル	17:30開始

コート割、開始時間、会場案内はP18～P21をご参照ください。

2. 役 員

委 員 長： 三菱庭球同好会会長 井手明彦 (三菱マテリアル)

副委員長： 小山田 隆 (三菱東京UFJ銀行) 大隈信幸 (三菱電機)
 本田隆晴 (ニコン) 大川直樹 (三菱製紙)

同好会相談役： 岸 暁 (三菱東京UFJ銀行) 畔柳信雄 (三菱東京UFJ銀行)

審判長： 藤井道雄 (三菱電機)

副審判長： 武田 彰 (三菱商事)

H. I. 盃委員： 岡田哲郎 (東京海上日動) 松岡信幸 (三菱電機)
 荒谷雅夫 (明治安田生命) 濱野智之 (三菱東京UFJ銀行)
 大地重雄 (三菱化学) 木村博光 (三菱ふそうトラック・バス)
 牧村祐一 (三菱重工業) 島村健司 (三菱マテリアル)
 金子龍司 (三菱商事)

H. I. 盃地区委員： [関東] 渡辺 啓 (三菱化学) [中京] 中山芳郎 (三菱電機)
 [関西] 田中 顕一郎 (三菱電機) [九州] 横濱克彦 (三菱重工業)

3. 参 加 会 社

旭硝子(株)	三菱アルミニウム(株)	三菱商事(株)	三菱電線工業(株)
キリンホールディングス(株)	三菱化学(株)	(株)三菱東京UFJ銀行	JXホールディングス(株)
三菱化工機(株)	三菱伸銅(株)	三菱ふそうトラック・バス(株)	東京海上日動火災保険(株)
三菱ガス化学(株)	三菱製鋼(株)	三菱マテリアル(株)	(株)ニコン
三菱地所(株)	三菱製紙(株)	三菱レイヨン(株)	日本郵船(株)
三菱自動車工業(株)	三菱倉庫(株)	三菱UFJ証券ホールディングス(株)	(株)ピーエス三菱
三菱重工業(株)	(株)三菱総合研究所	三菱UFJ信託銀行(株)	明治安田生命保険(相)
三菱樹脂(株)	三菱電機(株)		

4. 試 合 方 法

[使用ボール：ダンロップフォート]

種 目	資 格 等	方 法
(1) H. I. 盃 (男子シングルストーナメント)	前年優勝者、地区代表 (関東3、関西3、中京・九州各1)	3セットマッチ (6ゲームオール、7ポイントタイブレーク)
(2) 女子シングルス トーナメント	地区代表 (関東4、関西2、中京・九州各1)	同 上
(3) 男子ダブルス	地区代表24組によるブロック別リーグ予選、決勝トーナメント (関東9、関西9、中京4、九州2)	予選、1回戦、準決勝8ゲームマッチ (8ゲームオール、7ポイントタイブレーク) 決勝、3セットマッチ (6ゲームオール、7ポイントタイブレーク、 1セットオール、10ポイントスーパータイブレーク)
(4) 女子ダブルス	地区代表8組によるブロック別リーグ予選、決勝トーナメント (関東5、関西2、中京1)	予選、8ゲームマッチ (8ゲームオール、7ポイントタイブレーク) 準決勝、決勝、3セットマッチ (6ゲームオール、7ポイントタイブレーク、 1セットオール、10ポイントスーパータイブレーク)
(5) 140才ダブルス	本年、満68才以上で合計140才以上のペアによるブロック別リーグ予選、決勝トーナメント	1セットマッチ (6ゲームオール、7ポイントタイブレーク)
(6) 120才ダブルス	本年、満58才以上で合計120才以上のペアによるブロック別リーグ予選、決勝トーナメント	同 上
(7) 東西対抗試合	東軍(関東以東)・西軍(中京以西) 男子各20組、女子各3組の対抗戦。	3セットマッチ (6ゲームオール、7ポイントタイブレーク、 1セットオール、10ポイントスーパータイブレーク)
(8) 特別試合	H. I. 盃選手権出場選手によるダブルスおよび女子シングルス出場選手によるダブルス	2セットマッチ (6ゲームオール、7ポイントタイブレーク)

[懇親試合] 1セットマッチ(6ゲームオール、7ポイントタイブレーク)

男子ダブルス予選敗者、140才、120才ダブルスの10月24日までの敗者、その他ご希望の方は、懇親試合に参加できますので、10月24日に各コートの大会運営本部まで申し出てください。但し、コート事情によりご希望に沿えない場合もありますので、ご了承ください。

5. 雨天時の対応

- (1) 原則、各社単位での確認をお願いします。
- (2) 各日とも、開始時間の1時間前から各コートに大会幹事がおりますので各社連絡員から問合せください。選手から各社連絡員に連絡がつかない場合は、直接コートに問合せいただいても結構です。
- (3) 10月25日(日)が雨天で試合中止となった場合は、懇親会のみ時間を早めて16:00から開催します。吉祥寺第一ホテル(TEL 0422-21-4411)にご集合ください。

大会次第 10月25日(日)

1. 開会式(三菱東京UFJ銀行武蔵野コート) (8:30)
 - (1) 集合
 - (2) 挨拶 井手大会委員長
 - (3) 優勝盃・優勝旗返還 井手大会委員長
 - (4) 諸注意 藤井審判長

2. 試合開始(コート時間割をご参照) (9:00)

3. 試合終了 (16:00)

4. 閉会式及び懇親会(吉祥寺第一ホテル 8階天平の間) (17:30)
 - (1) 開会挨拶 井手大会委員長
 - (2) 乾杯 小山田大会副委員長
 - (3) 優勝盃・優勝旗・賞品授与
および優勝者挨拶
 - ① H. I. 盃優勝者挨拶
 - ② 女子シングルス優勝者挨拶
 - ③ 男子ダブルス優勝者挨拶
 - ④ 女子ダブルス優勝者挨拶
 - ⑤ 140オダブルス優勝者挨拶
 - ⑥ 120オダブルス優勝者挨拶
 - ⑦ 東西対抗優勝旗授与
 - (4) 最高年令出場者挨拶
 - (5) 閉会の辞 大隈大会副委員長
 - (6) 万才三唱 武田副審判長

5. 閉会(解散) (19:00)

6. 記念撮影
懇親会終了後、H. I. 盃、女子シングルスの出場者、男子ダブルス、女子ダブルス、140オダブルス、120オダブルスの優勝・準優勝者、東西対抗試合主将並びに大会役員の方々の記念撮影を行ないます。

諸 注 意 事 項

1. コートへのアクセス、宿舎等

- (1) 各コートへの交通手段と連絡先は、P20, 21をご参照ください。
- (2) 第1日・2日は専用バスの配車はいたしませんので、各自お越してください。
- (3) 第3日（銀行コート、郵船コート）は専用バスを運行しますので、ご利用ください。
- (4) **マイカーでのご来場は厳禁です（第一日の海上コートのみ可です）。**
- (5) 会場への交通・宿舎などについては、各自にて手配願います。

2. 更 衣 室

各コートとも、更衣室のロッカーはご利用できませんのでお荷物は各自で管理してください。

3. 試 合 進 行 等

- (1) 試合進行はコート時間割に従って行ないますが、変更する場合がありますので、予め試合進行掲示板にてご確認ください。**近隣対策上、試合前の選手の呼び出し（場内アナウンス）は致しません**のでご注意ください。なお、個人のご都合による時間割の変更は受け付けいたしません。
- (2) **練習時間は、試合進行上、H. I . 盃、女子シングルスは5分以内、その他は3分以内と致しますので厳守願います。**

4. 審 判

- (1) H. I . 盃、女子シングルス、男子ダブルス、女子ダブルス、140オダブルス、120オダブルスの決勝はコールアンパイアがつきますが、その他の試合はセルフジャッジですのでご協力ください。
- (2) 試合結果は、勝者がスコアカードに記入の上ボールと一緒に大会本部まで届けてください。

5. 昼 食

- (1) **全日とも昼食の準備はありません。各自にて手配願います。**
- (2) ジュース等の空きカン・ペットボトル・ゴミは所定の場所にお捨ててください。

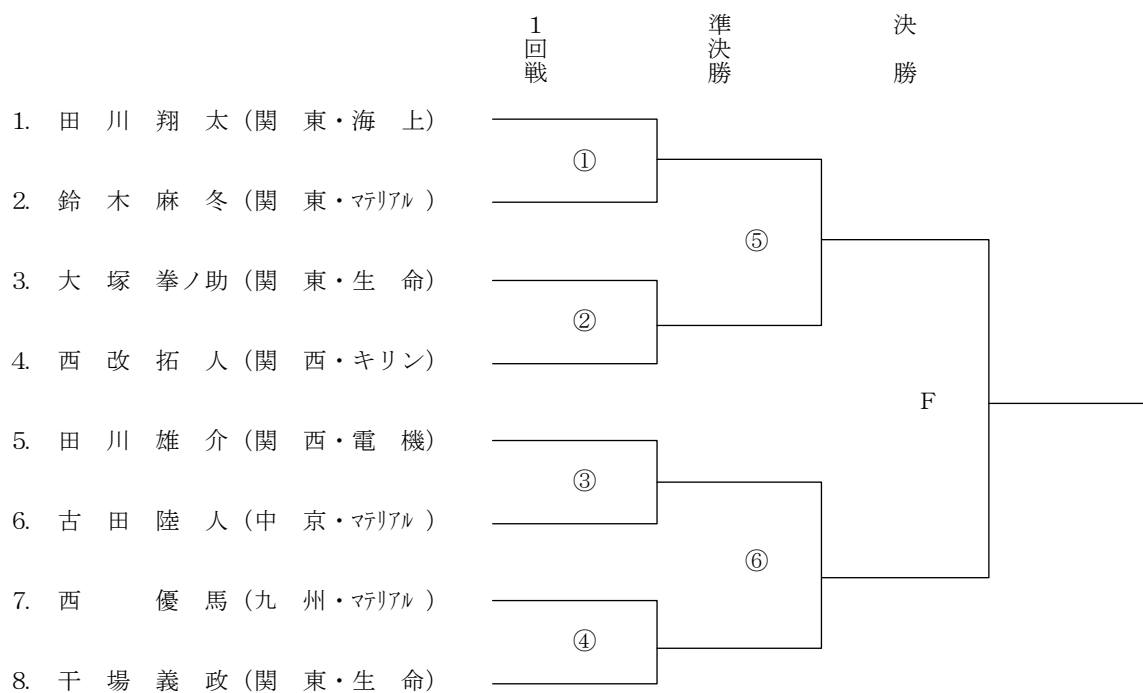
6. D E F

- (1) 所定の時間までに試合前受付がない場合は、原則棄権となります。
- (2) やむを得ずDEFの場合は速やかに自社の連絡員経由でご連絡ください。

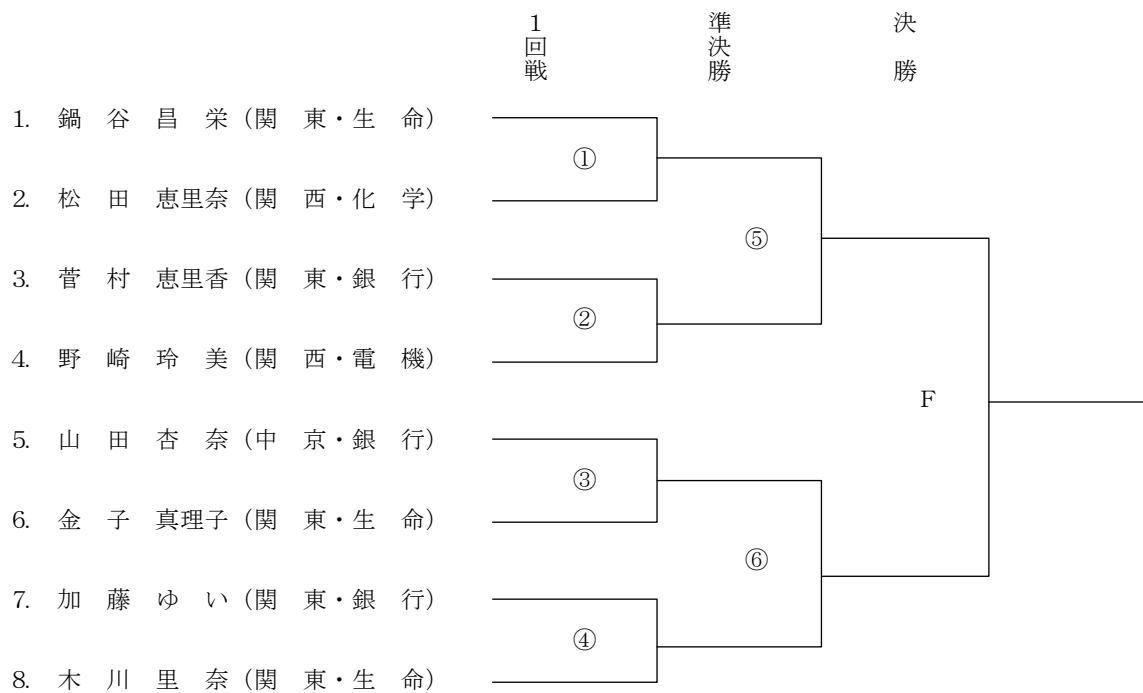
7. 参 加 費

140オダブルス、120オダブルス参加者は関東地区5,000円、関東以外3,000円、その他関東地区の参加者は4,000円、関東以外は1,000円を各社とりまとめてください。後日徴収いたします。

H. I . 盃 (男子シングルス)



女子シングルス

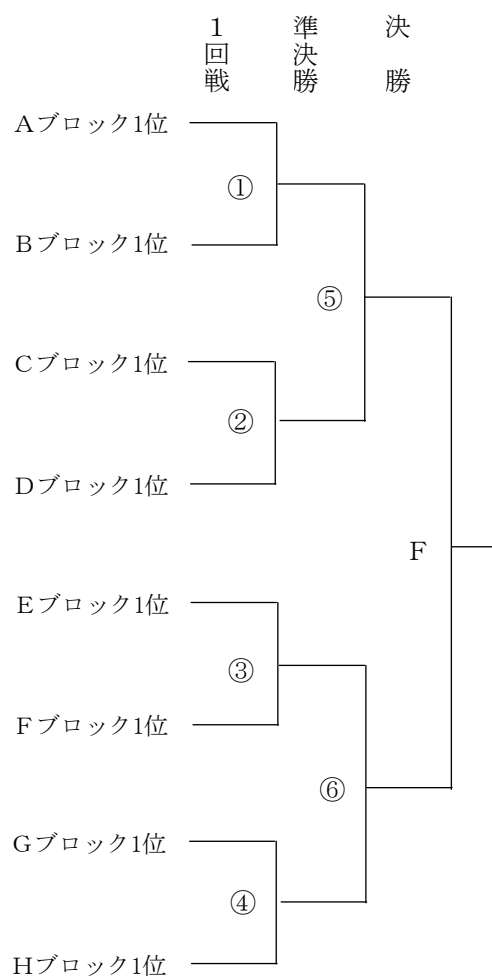


男子ダブルス

ブロック別リーグ戦

Aブロック	1	神谷・星野 (関東・麒麟)
	2	岡田・白田 (中京・電機)
	3	笹谷・小林 (関西・電機)
Bブロック	1	有松・井上 (関東・マテリアル、海上)
	2	田所・大橋 (関東・銀行)
	3	福田・黄 (関西・電機)
Cブロック	1	野原・高山 (関東・生命)
	2	安田・湊 (関西・レイヨン、樹脂)
	3	小川・松永 (関西・重工)
Dブロック	1	駒田・廣田 (関東・電機)
	2	城山・土佐 (関東・郵船)
	3	大出・吉田 (九州・電機、重工)
Eブロック	1	八木・岡本 (中京・レイヨン)
	2	本倉・山根 (関西・電機)
	3	赤井・中村 (九州・マテリアル)
Fブロック	1	長谷川・井上 (関東・海上)
	2	田元・上村 (関東・生命)
	3	成瀬・池田 (中京・自動車)
Gブロック	1	市川・福岡 (関西・三菱ガス化学)
	2	加藤・櫻山 (関東・マテリアル、海上)
	3	吉田・速水 (関西・電機)
Hブロック	1	大間・門園 (中京・自動車)
	2	服部・飯田 (関西・キャピラー)
	3	八島・佐久間 (関西・銀行)

決勝トーナメント



男子ダブルスブロック内順位について

① ブロック別リーグ戦において勝率の高い方を上位とする。

② 各ブロック1位が決勝トーナメントに進出する。

③ 3組が同率になった場合は、以下の要素で順位をつける。

・全試合での取得ゲーム率 (%) = 全試合取得ゲーム数 ÷ 全試合ゲーム数

※取得ゲーム率の計算の際、不戦勝の場合は8-0 (不戦敗は0-8) で計算し、途中棄権の場合は、棄権した時点のスコアから、残りのゲームを勝利したペアが全て取ったと仮定して計算する。(例：A対Bの試合で、Aから5-7の時点でBが途中棄権した場合、Aが9-7で勝利したとして計算する。)

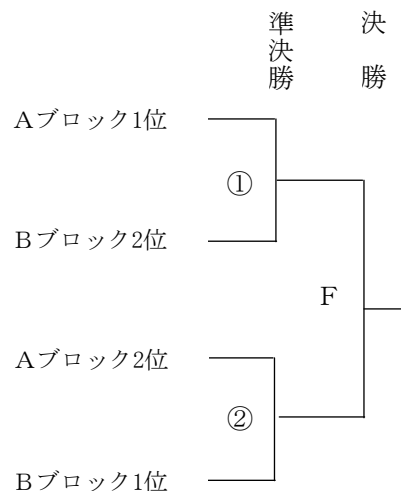
④ 上記の結果でも、3組が同率となった場合は、抽選により順位を決定する。

女子ダブルス

ブロック別リーグ戦

Aブロック	1	横本・秋元（関西・銀行）
	2	関・小川（関東・銀行）
	3	美寿見・布目（関東・電機）
	4	金子・後藤（関東・生命）
Bブロック	1	是長・福田（関西・銀行）
	2	辻本・須長（関東・銀行）
	3	松田・泉水（関東・生命）
	4	牧野・吉場（中京・電機）

決勝トーナメント



女子ダブルスブロック内順位について

① ブロック別リーグ戦において勝率の高い方を上位とする。

② 各ブロック上位2組が決勝トーナメントに進出する。

③ 2組が同率になった場合は、直接対決の勝者を上位とする。

④ 3組以上が同率になった場合は、以下の要素で順位をつける。

・全試合での取得ゲーム率（%）＝全試合取得ゲーム数÷全試合ゲーム数

※取得ゲーム率の計算の際、不戦勝の場合は8－0（不戦敗は0－8）で計算し、途中棄権の場合は、棄権した時点のスコアから、残りのゲームを勝利したペアが全て取ったと仮定して計算する。（例：A対Bの試合で、Aから5－7の時点でBが途中棄権した場合、Aが9－7で勝利したとして計算する。）

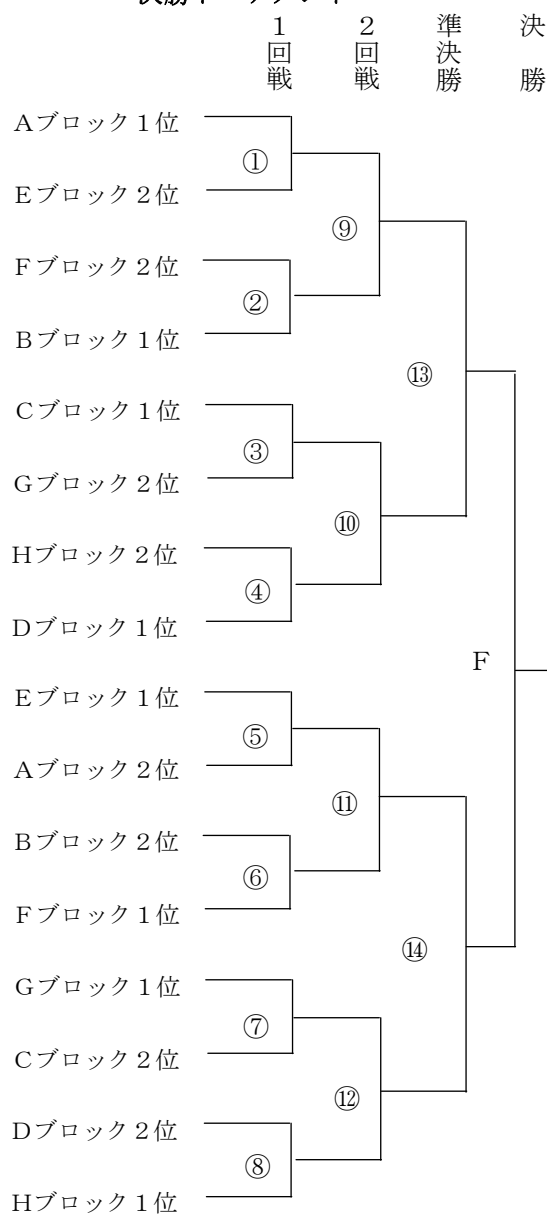
⑤ 上記の結果でも、3組以上が同率となった場合は、抽選により順位を決定する。

140オダブルス

ブロック別リーグ戦

Aブロック	1	三浦・大谷 (レイソ)
	2	小松・国房 (商事)
	3	佐伯 (重工) ・柿原 (化学)
	4	増田・君塚 (海上)
Bブロック	1	生川・姉川 (化学)
	2	大胡・浦田 (銀行)
	3	斎藤・村上 (マテリアル)
	4	鳥居・中川 (樹脂)
Cブロック	1	東 (重工) ・前田 (レイソ)
	2	山辺・井上 (硝子)
	3	金子・本野 (マテリアル)
	4	藤本・毎野 (商事)
Dブロック	1	米田 (マテリアル) ・伊藤 (ピーエス三菱)
	2	市川・桑田 (信託)
	3	大日方・高橋 (銀行)
	4	宗 (硝子) ・横山 (重工)
Eブロック	1	元治・鬼頭 (銀行)
	2	飯野・有馬 (商事)
	3	濱野・金子 (硝子)
	4	柿原 (海上) ・鈴木 (生命)
Fブロック	1	織田 (商事) ・藤井 (電機)
	2	関間・山本 (銀行)
	3	服部・早乙女 (重工)
	4	西嶋・河村 (マテリアル)
Gブロック	1	駒田・鈴木 (海上)
	2	中野・伊藤 (電機)
	3	森山・五十嵐 (硝子)
	4	百濟・羽川 (マテリアル)
	5	長谷川・本田 (レイソ)
Hブロック	1	淀川・田畑 (重工)
	2	江口・岩田 (化学)
	3	木村・福井 (商事)
	4	丸田 (硝子) ・丸田 (銀行)

決勝トーナメント



ブロック別リーグ戦の試合順は、P. 18コート時間割の通りとします。

140オダブルスブロック内順位について

- ① ブロックリーグ戦において、勝率の高い方を上位とする。(例：3勝、2勝1敗、1勝2敗、3敗)
- ② 各ブロック上位2組が決勝トーナメントに進出する。
- ③ 2組が同率になった場合は、直接対決の勝者を上位とする。
- ④ 3組以上が同率になった場合は、以下の要素で順位をつける
 - ・全試合での取得ゲーム率(%) = 全試合取得ゲーム数 ÷ 全試合ゲーム数
 - ※ 取得ゲーム率の計算の際、不戦勝の場合は6-0(不戦敗は0-6)で計算し、途中棄権の場合は、棄権した時点のスコアから、残りのゲームを勝利ペアが全て取ったと仮定して計算する。(例：A対Bの試合で、Aから3-5の時点でBが途中棄権した場合、Aが7-5で勝利したとして計算する。)
- ⑤ 上記の結果でも、3組以上が同率となった場合は、抽選により順位を決定する。

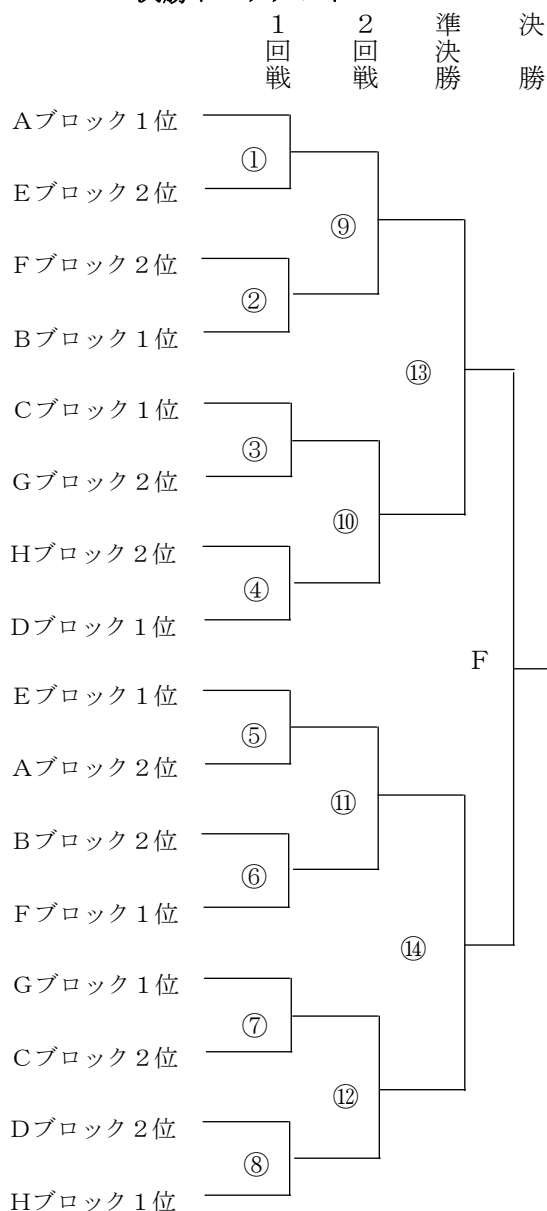
120オダブルス

ブロック別リーグ戦

Aブロック	1	加藤・浅葉 (電機)
	2	西・村山 (商事)
	3	田部・近藤 (化学)
Bブロック	1	瀧口・伊藤 (化学)
	2	田中 (マテリアル)・黒崎 (銀行)
	3	石川・阿部 (海上)
	4	花生・盛 (商事)
Cブロック	1	武田・佐久間 (商事)
	2	松浦・須賀田 (化学)
	3	三浦・久保 (マテリアル)
	4	東城・石井 (海上)
Dブロック	1	田中・牧村 (重工)
	2	福寺・村松 (信託)
	3	大塩・茂木 (銀行)
Eブロック	1	堀田・多屋 (海上)
	2	安川・若林 (商事)
	3	石山・泉本 (JX)
Fブロック	1	長島・佐藤 (海上)
	2	中村・小林 (電機)
	3	大岸・長張 (化学)
	4	小松・岡本 (商事)
Gブロック	1	今西・柏木 (商事)
	2	西岡・遠藤 (海上)
	3	大西・関 (化学)
	4	武藤・佐々木 (重工)
Hブロック	1	加納・本間 (硝子)
	2	竹下・小林 (化学)
	3	草場・羽倉 (銀行)

ブロック別リーグ戦の試合順は、P.18コート時間割の通りとします。

決勝トーナメント



120オダブルスブロック内順位について

- ① ブロックリーグ戦において、勝率の高い方を上位とする。(例：3勝、2勝1敗、1勝2敗、3敗)
- ② 各ブロック上位2組が決勝トーナメントに進出する。
- ③ 2組が同率になった場合は、直接対決の勝者を上位とする。
- ④ 3組以上が同率になった場合は、以下の要素で順位をつける

・全試合での取得ゲーム率 (%) = 全試合取得ゲーム数 ÷ 全試合ゲーム数

※ 取得ゲーム率の計算の際、不戦勝の場合は6-0 (不戦敗は0-6) で計算し、途中棄権の場合は、棄権した時点のスコアから、残りのゲームを勝利ペアが全て取ったと仮定して計算する。(例：A対Bの試合で、Aから3-5の時点でBが途中棄権した場合、Aが7-5で勝利したとして計算する。)

- ⑤ 上記の結果でも、3組以上が同率となった場合は、抽選により順位を決定する。

東西対抗試合

<男子ダブルス>

	東 軍	西 軍
1.	{ 大地(化学) 渡辺(化学) }	{ 笠松(電機) 水野(電機) }
2.	{ 加藤(商事) 宮崎(商事) }	{ 山崎(重工) 比本(重工) }
3.	{ 阿部(銀行) 松本(銀行) }	{ 黒田(重工) 桐木平(重工) }
4.	{ 塚原(銀行) 塚本(銀行) }	{ 秋田(化学) 新田(化学) }
5.	{ 木村(電機) 遠藤(電機) }	{ 栗山(マテリアル) 野川(マテリアル) }
6.	{ 金子(商事) 古村(商事) }	{ 天清(電機) 瀧沢(電機) }
7.	{ 高橋(生命) 塩谷(生命) }	{ 小川(重工) 廣田(重工) }
8.	{ 藤井(重工) 浜辺(重工) }	{ 田中(電機) 岩田(電機) }
9.	{ 高木(商事) 佐藤(商事) }	{ 橋本(重工) 竹内(重工) }
10.	{ 山岸(銀行) 中野(銀行) }	{ 木下(重工) 田窪(重工) }
11.	{ 東(重工) 若元(重工) }	{ 河合(旭硝子) 吉本(旭硝子) }
12.	{ 西野(電機) 榎原(電機) }	{ 沼(銀行) 星野(銀行) }
13.	{ 林(J X) 宮村(J X) }	{ 土性(電機) 石原(電機) }
14.	{ 木村(ふそう) 武井(ふそう) }	{ 有本(電機) 細野(電機) }
15.	{ 桑田(樹脂) 山田(銀行) }	{ 小牧(自動車) 大杉(自動車) }
16.	{ 橋本(重工) 増田(重工) }	{ 鍵田(電機) 高山(電機) }
17.	{ 深井(ガス) 小沼(ガス) }	{ 内田(電機) 飯田(電機) }
18.	{ 黒井(自動車) 阿部(自動車) }	{ 吉田(電機) 中筋(電機) }

19.	{ 前田(地所) 田中(地所) }	{ 小山(電機) 山際(電機) }
20.	{ 南(銀行) 永森(銀行) }	{ 中山(電機) 筒井(電機) }

<女子ダブルス>

	東 軍	西 軍
1.	{ 橋本(海上) 大石(海上) }	{ 香山(電機) 川内(電機) }
2.	{ 西村(自動車) 清水(銀行) }	{ 前田(電機) 梅次(電機) }
3.	{ 白井(銀行) 三木(銀行) }	{ 渡辺(電機) 新井(電機) }

<特別試合>

男子ダブルス

{ } — { }

女子ダブルス

{ } — { }

第1日 (10月23日) コート時間割

		海 上 コ ー ト					郵 船 コ ー ト				
コートNo. 時間	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
9 : 45	120才 (ブロックリーグ)					140才	140才 (ブロックリーグ)				
	A1・2	B1・2	B3・4	C1・2	C3・4	G1・2	A1・2	A3・4	B1・2	B3・4	C1・2
10 : 25	120才 (ブロックリーグ)					140才	140才 (ブロックリーグ)				
	D1・2	E1・2	F1・2	F3・4	G1・2	G3・4	C3・4	D1・2	D3・4	E1・2	E3・4
11 : 05	120才 (ブロックリーグ)					140才	140才 (ブロックリーグ)				
	G3・4	H1・2	A1・3	B1・3	B2・4	G1・5	F1・2	F3・4	H1・2	H3・4	A1・3
11 : 45	120才 (ブロックリーグ)					140才	140才 (ブロックリーグ)				
	C1・3	C2・4	D1・3	E1・3	F1・3	G2・4	A2・4	B1・3	B2・4	C1・3	C2・4
12 : 25	120才 (ブロックリーグ)					140才	140才 (ブロックリーグ)				
	F2・4	G1・3	G2・4	H1・3	A2・3	G3・5	D1・3	D2・4	E1・3	E2・4	F1・3
13 : 05	120才 (ブロックリーグ)					140才	140才 (ブロックリーグ)				
	B1・4	B2・3	C1・4	C2・3	D2・3	G1・4	F2・4	H1・3	H2・4	A1・4	A2・3
13 : 45	120才 (ブロックリーグ)					140才	140才 (ブロックリーグ)				
	E2・3	F1・4	F2・3	G1・4	G2・3	G2・3	B1・4	B2・3	C1・4	C2・3	D1・4
14 : 25	120才 (ブロックリーグ)					140才	140才 (ブロックリーグ)				
	H2・3					G4・5	D2・3	E1・4	E2・3	F1・4	F2・3
15 : 05						140才	140才 (ブロックリーグ)				
						G1・3	H1・4	H2・3			
15 : 45						140才					
						G2・5					

第2日 (10月24日) コート時間割

		銀 行 コ ー ト								海 上 コ ー ト																						
コートNo. 時間	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4																				
9 : 00	140才 (1回戦)								/																							
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧																								
9 : 45	120才 (1回戦)												/																			
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧																								
10 : 30	140才 (2回戦)				120才 (2回戦)												/															
	⑨	⑩	⑪	⑫	⑨	⑩	⑪	⑫																								
11 : 15	H. I. 盃 (1回戦)				女子シングルス (1回戦)																/											
	①	②	③	④	①	②	③	④																								
12 : 00	男子ダブルス (ブロック別)				男子ダブルス (ブロック別)																				/							
	E1・2	F1・2	G1・2	H1・2	男子ダブルス (ブロック別)																											
12 : 45	女子ダブルス (ブロック別)				男子ダブルス (ブロック別)																								/			
	A1・4	A2・3	B1・4	B2・3	A1・2	B1・2	C1・2	D1・2																								
13 : 30	女子ダブルス (ブロック別)				男子ダブルス (ブロック別)				/																							
	A1・3	A2・4	B1・3	B2・4	A1・3	B1・3	C1・3	D1・3																								
14 : 45	女子ダブルス (ブロック別)				男子ダブルス (ブロック別)								/																			
	A1・2	A3・4	B1・2	B3・4	A2・3	B2・3	C2・3	D2・3																								
15 : 00	フリーコート																/															
	*希望者は当日、会場でサインナップ願います。																															
15 : 45																					/											

「A1・2」はAブロック1-2の対戦を示します。

第3日（10月25日）コート時間割

	銀行コート								郵船コート									
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5					
8:30	開会式（原則、必ずご参加ください）								/									
9:00	H. I. 盃 (SF)		女子 シングルス (SF)		男子ダブルス (1回戦)													
:30	⑤	⑥	⑤	⑥	①	②	③	④										
10:00					女子 ダブルス (SF)		140才 (SF)		東西対抗 男子									
:30					①	②	⑬	⑭	2	3	7	8	9					
11:00							120才 (SF)		東西対抗 男子		東西対抗 女子							
:30							⑬	⑭	11	12	1	2	3					
12:00	140才 (F)	男子 ダブルス(SF)		⑤	⑥	特別 試合	特別 試合	東西対抗 男子		東西対抗 男子								
:30	H. I. 盃 (F)			女子 S (F)	女子 D (F)	120才 (F)	男子	女子	4	5	13	15	17	19				
13:00			東西対抗 男子								<p>○注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 出場選手は、必ず開会式にご参加ください。但し、東西対抗選手等で当日移動の方は、除きます。 2. 練習時間は、H.I.盃、女子シングルスが5分以内、その他が3分以内としますので厳守ください。 3. 進行は、本部横に掲示されますので、前広にご確認ください。 天候、進行、その他やむを得ない事由により、コート割・時間割を変更することがあります。 4. 大会役員の方は、11:30から銀行コートのクラブハウス2Fにて昼食会を行います。 H.I.盃、女子シングルス出場選手は、選手紹介を行いますのでご参集ください。 5. 懇親試合をご希望の方は、銀行コートまたは海上コートの大会運営本部へ申出ください。 							
:30							東西対抗 男子											
14:00							男子 D (F)	1								6	10	14
:30							東西対抗 男子											
15:00							16	18								20		
:30							懇親試合											
16:00							懇親会 (吉祥寺第一ホテル)											
:30	<p>【バス利用】16:30銀行コート→吉祥寺→17:05吉祥寺第一ホテル 16:40銀行コート→17:05吉祥寺第一ホテル 16:50銀行コート→17:15吉祥寺第一ホテル</p>																	
17:30	懇親会 (吉祥寺第一ホテル)																	
19:00																		

大会会場案内図 (1)

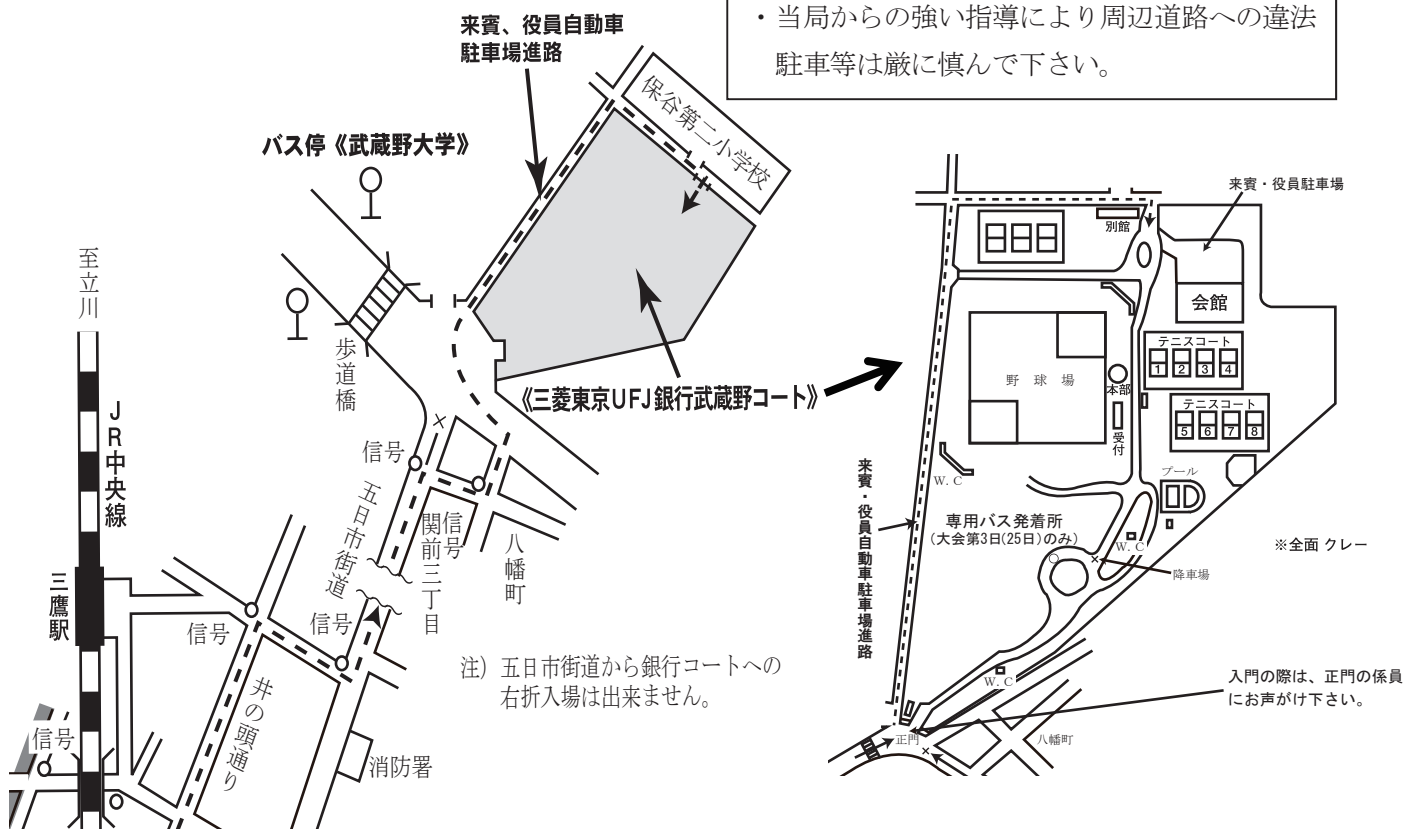
《三菱東京UFJ銀行武蔵野コート》

東京都西東京市柳沢4-4-40

TEL. 0424-61-0770

マイカーでのご来場は厳禁です

- ・銀行コート駐車場の使用は、各社役員、来賓、大会役員の車に限定します。
- ・当局からの強い指導により周辺道路への違法駐車等は厳に慎んで下さい。



● 10月25日 (日) 銀行コートとのアクセス

- (1) 第2日 (10/24) は専用バスの配車はいたしませんので、各自お越し下さい。
- (2) 第3日 (10/25) は専用バスを運行しますので、ご利用下さい。

<三鷹駅⇒銀行コート⇒吉祥寺駅／懇親会場間の連絡バス>

発車		到着		備考
7:50	三鷹駅	8:00	銀行コート	大型1台
8:00	三鷹駅	8:10	銀行コート	
8:10	三鷹駅	8:20	銀行コート	
16:30	銀行コート	17:05	吉祥寺第一ホテル	*大型2台
16:40	銀行コート	17:05	吉祥寺第一ホテル	マイクロ2台
16:50	銀行コート	17:15	吉祥寺第一ホテル	大型1台

*16:30 銀行コート発のバスは、吉祥寺駅経由です。



大会会場案内図（2）

《日本郵船飛田給コート》

調布市飛田給1-54-1

（飛田給駅下車徒歩約5分）

TEL. 0424-82-3152

● 10月25日（日）

＜銀行コート⇄郵船コート間の連絡バス＞

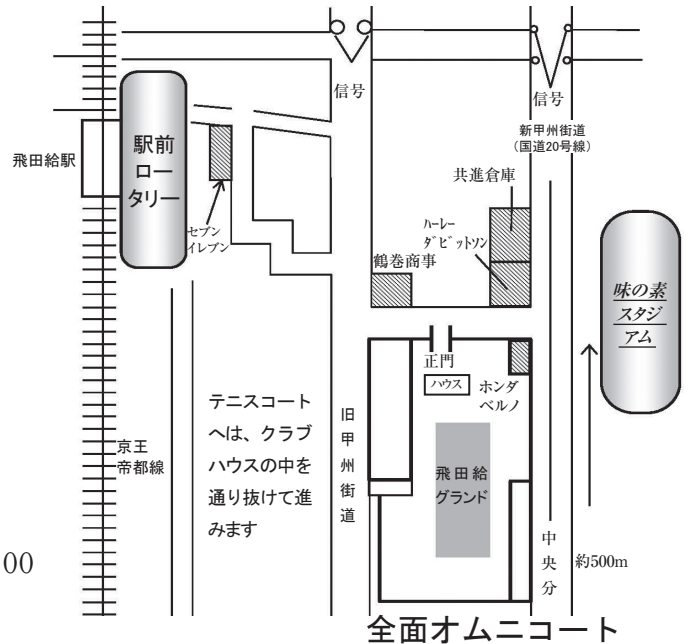
郵船コートの方は、銀行コートでの開会式ご参加後に、銀行コート発のバスでご移動ください。所要時間は、約30分です。

【時刻表（マイクロバス）】

◇銀行発 9:00, 10:00, 11:00, 12:00

◇郵船発 10:00, 11:30, 12:00, 13:00, 14:00

マイカーでのご来場は厳禁です



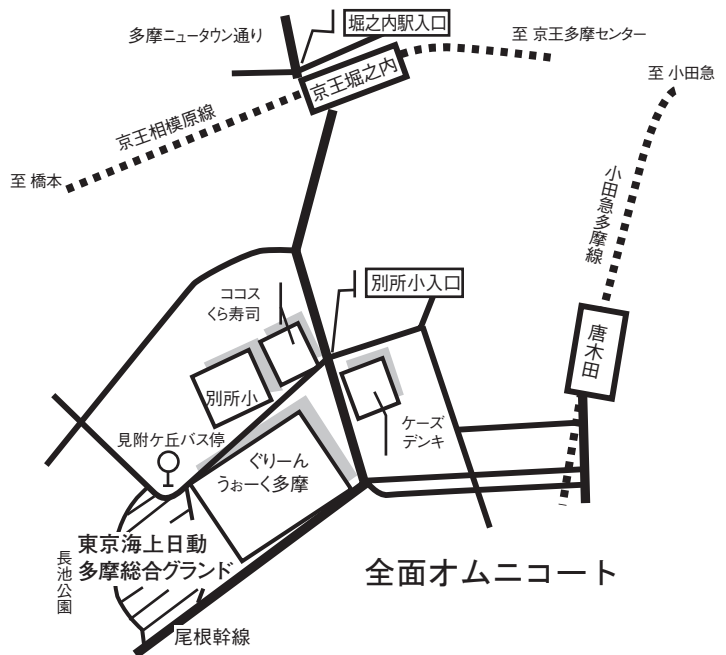
《東京海上日動多摩総合グラウンド》

八王子市別所2-57

TEL. 0426-77-8619

- ① 京王相模原線
「京王堀之内」駅よりバス
「見附橋循環」のりば④番)
にて「見附ヶ丘」下車
- ② 京王相模原線
「京王堀之内」駅
または小田急多摩線
「唐木田」駅より
タクシー利用

第1日のみマイカーの利用可



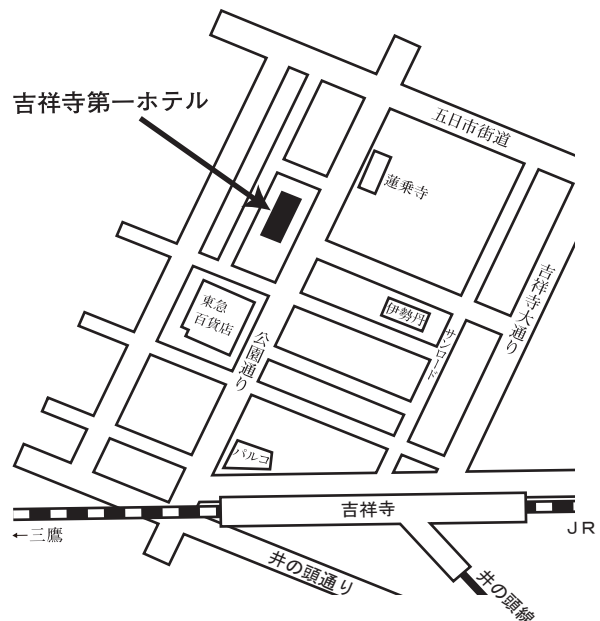
懇親会会場案内図

（吉祥寺第一ホテル 天平の間）

TEL. 0422-21-4411

地下駐車場は、大会役員、来賓のみ利用できます。

1F 玄関前は混雑しますので、19:00懇親会閉会後は速やかに移動願います。



三菱庭球同好会の源は、大正3年(1914)設立された三菱倶楽部庭球部であり、三菱合資会社の銀行部、鉱山部、造船部等々の庭球同好の士が、丸の内の八重洲ビルのある場所にあったクラブハウスとテニスコート1面に集まって主に軟式を楽しんでいた。大正11年、岩崎彦彌太氏のからのHIロンドンカップ寄贈を機に、「三菱庭球同好会」が組織され、翌年、大会委員長、委員が任命された。運営は、彦彌太氏の強い御支援の下、同好会員からの会費で、全国大会等を行っていた。

昭和20年(1945)、各社は敗戦の廃虚の中から再出発となったが、昭和26年の講和条約とともに、三菱の商号使用解除、岩崎氏も公職追放解除等の気運の中で、三菱グループ再結束の意識と動きが高まってきた。昭和27年、復活第1回HI盃と全三菱庭球大会は、千代田(三菱)銀行のコートで、彦彌太氏の御臨席を得、石黒大会委員長(地所)の下で感激のうちに行われた。

以降、本大会は、HI=Horizontal Integration の精神で、彦彌太氏を戴くグループ結束の象徴的スポーツ大会として、総務部主体、同好会協力のような形で運営された。幹事会社は、毎年ルールなしに各社長参加の宴席で決まり、幹部対応、人的労力、費用負担はかなりのものであった。

昭和42年9月、彦彌太氏が御逝去され、その後二度のオイルショック等を経て、各社も厳しい経営を迫られる時代の流れとなり、大会への参加・運営に対してグループ各社間で温度差が出てきた。

重工古賀繁一社長が、牧田与一郎氏(重工社長で急逝された)の後を受け、昭和49年大会から同好会長に就任し、以降8年間務められた。古賀会長は、当時の運営課題を認識されるや、HI盃委員に「HI盃大会の伝統を守りつつ、グループのスポーツ大会として、あるべき運営ルールをつくること」を命じられ、その検討結果を昭和50年の金曜会に諮り、現在の運営を形作られた。

1. 全三菱庭球大会の大会委員長は、庭球同好会長が務めること。
庭球同好会は試合の運営、進行をすべて行うこと。
2. 幹事会社は、担当順番を定め、8グループに分けて全社に分担頂く。
幹事会社総務部門には、大会の設営、進行をお世話願ひ、代表役員の出席を頂く。
総務部門に分担して頂いている費用は、質実簡素を旨として予算編成する。

古賀会長は、昭和57年に商事の田部文一郎氏に会長を引継いだ際、「三菱庭球同好会長とは、全国全社の三菱人をまとめ、共にあろうという岩崎彦彌太氏の志を継いで、岩崎家のカップを護る役目であるから三菱グループを代表する幹部に引継いでゆくこと」を不文律として申し送られた。

古賀会長のお人柄に少し触れると、長崎造船所で戦艦武蔵の建造副主任(三菱の責任者)を経験され、重工の社長を急逝された牧田社長の残任期間の1年半務められた後退任された。活淡として“筋を通す”方で、常に「初めに終わりを慎む」、初めに帰って正道を求め、然も、後世に禍根を残さず、終わりの万全を期するという、三菱精神の権化のような方でした。また、テニスは中学時代から愛好され、頑健にして超酒豪、昭和47年に財界メンバとして訪中した際、周恩来首相ほか中国要人と老酒39盃を乾杯されたのは語り草で、この関係から昭和49年には、日中友好の一環として全三菱・中国交歓庭球大会が行なわれた。



古賀繁一氏

『三菱庭球の歩み』 和田正規氏(重工)の講話より編纂